COMⅡWORKBOOK　Lesson 1　I’m the Strongest!　解答

Part 1　(p.2-3)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| wheelchair | 車いす | amazing | 驚くほどの，すばらしい |
| cancer | がん | age | 歳 |
| talent | 才能 | someday | いつか |

［解説］

・amazingは形容詞で，動詞のamaze「～をびっくりさせる」から派生したものです。

・somedayは副詞で，｢(未来の) いつか，そのうち」の意味。some dayとも表現できます。

［２］

1. イ 2. ア 3. ウ

［３］

1. ア 2. イ 3. イ

［４］

1. age of 2. was brought up　　3. have been

［解説］

1. ｢～歳のときに」は at the age of～で表せます。

2. ｢育てられた」は，bring up～「～を育てる」を受動態(be動詞＋過去分詞)にし，過去形で

表せます。

3. ｢～に行ったことがある」は「経験」を表す現在完了形have been to～で表せます。

have gone to ～は「～に行ってしまった」という「結果」を意味します。

［５］

1. I want to become good at cooking. 2. Have you ever swum in the ocean?

[解説]

1. ｢～が上手になる」は become good at～で表せます。

2. 相手に経験を尋ねるときは，“Have you ever＋過去分詞?”で表せます。

［６］

(1) 国枝慎吾という名前を今までに聞いたことがありますか。

(2) ア

(3) ③ ウ ④ エ

(4) 彼にはスポーツの才能があったから

(5) excited

(6) ア．Because of cancer. [Because he had cancer.]

イ．He wanted to have a match with him.

［解説］

(2) 下線部②は「～のような」(前置詞)です。

ア. ｢～のような」(前置詞)，イ. would like to～「～したいと思う」(動詞)，

ウ．like～ing「～するのを好む」(動詞)。

(3) ③空所のあとに続く内容は，前文の内容と対比されています。対比を表す選択肢はHowever

「しかし」です。

(4) 下線部全体で「彼はすぐにそれ(＝車いすテニス)が上手になりました」の意味です。直前に，

｢理由」を表す接続詞As～「～なので」で始まる節があります。

(5) 形容詞の excited「興奮して，わくわくして」にします。

(6) ア．*l*.4-5 の内容から考えましょう。イ．*l*.10-11 の内容から考えましょう。

Part 2　(p.4-5)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| mentally | 精神的に | several | いくつかの |
| disappear | 消える | achieve | ～を達成する |
| mind | 心 | motivation | モチベーション，動機 |

［解説］

・mentally は副詞で，mental は形容詞(精神の)です。

・several は3つ以上から5，6くらいまでを指します。話し手の意識の中で数が多いことに含みを持たせた「いくつかの」と考えるとよいでしょう。

［２］

1. ア 　2. ウ 　3. イ

［３］

1. ア 　2. イ 　3. ウ

［４］

1. if[whether] 2. win，title 3. fell into

［解説］

1. ｢～かどうか」はif[whether]で表せます。

2. ｢タイトルを取る」は，win a titleで表せます。

3. ｢～に陥る」は fall into～で表せます。

［５］

1. I doubt whether he remembers me.

2. I will continue to work hard to make my dream come true.

［解説］

1. ｢～かどうか」を意味するwhetherを用いて間接疑問文を作ります。

2. ｢～し続ける」は continue to～で表せます。

［６］

(1) ① won ④ fell

(2) 彼は，毎朝，鏡の中の自分を見て「ぼくは最強だ！」と叫ぶことがうまくいくのかどうか疑

いました

(3) イ

(4) 彼にはライバルがいなかったので，テニスをするモチベーションを失いかけていた状態

(5) ア．Because he was not mentally strong.

イ．He achieved the Grand Slam.

［解説］

(1) winとfallはともに不規則動詞で，過去形や過去分詞が win-won-won，fall-fell-fallen

のように不規則に変化します。

(2) thisは前文のto look以降の内容を指します。

(3) 下線部は「自分の心から弱さが消えていった」の意味を表します。選択肢の中で最も意

味が近いのは，イの「彼は精神的に強くなっていった」です。

(4) 下線部のmental slumpはtheではなくaが付いていることから，初めて話題に上った

ものであることが考えられます。その具体的な内容は，あとに続く文で述べられています。(5) ア. *l*.2-3 の内容から考えましょう。イ. *l*.8-9 の内容から考えましょう。

Part 3　(p.6-7)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| realize | ～に気づく | challenge (名詞) | 難題 |
| professional (名詞) | プロ (の選手) | disabled | 身体障がいのある |
| overcome | ～を克服する | fascinate | ～を魅了する |

［解説］

・challengeには動詞で「～に挑む」の意味がありますが，日本語でいう「チャレンジする(苦

手なものに挑戦する)」は，challengeではなくtryを用います。

［２］

1．イ 　2．ウ 　3．ア

［３］

1. ア 　2. ウ 　3. ア

［４］

1. One day 2. put，on 3. become interested in

［解説］

1. ｢ある日」は one dayで表せます。｢(未来の)いつか」という意味もあります。

2. ｢*A*を*B*に貼り付ける」は，put *A* on *B*で表せます。

3. ｢～に興味を持つようになる」は become interested in ～で表せます。

［５］

1. He found the book he was looking for.

2. She speaks not only English but also French.

［解説］

1. ｢SがVするA」は “A[名詞]＋(which / who(m) / that)＋S＋V” で表せます。ここでは関係代名詞which[that]が省略されています。

2. ｢*A*だけでなく*B*も」は not only *A* but also *B*で表せます。

［６］

(1) ① イ ② ウ ⑦ ア

(2) ③ was ④ am

(3) the phrase he puts on his rackets

(4) プロになること

(5) ア．〇 イ．× ウ．〇 エ．×

［解説］

(1) ① 空所で始まる文は，導入としてこれから述べる話題を読者に知らせる役割を持ちます。導入に適した選択肢は One day「ある日」です。

② 空所で始まる文は，ある状態が過去のある時点から現在まで続いてきたことを表す現在完了形です。過去のある時点を表す選択肢はSince then「そのとき以来」です。

⑦ 空所のあとに続く内容は，前文の内容と対比されています。対比を表す選択肢はHowever「しかし」です。

(2) 各語の直後の語から考えましょう。

(4) 下線部は前文の he became a professionalを指します。

(5) ア．*l*.1 の内容から考えましょう。イ．*l*.5-6 の内容から考えましょう。

ウ．*l*.10 の内容から考えましょう。エ．*l*.11 の内容から考えましょう。

Lesson 2　Tokyo’s Seven-minute Miracle　解答

Part 1　(p.8-9)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| bow | おじぎをする | wipe | ～を拭く |
| passenger | 乗客 | floor | 床 |
| garbage | ごみ | baggage | 荷物 |

［解説］

・baggage は数えられない名詞で，｢5つの荷物」は five pieces of baggage と表します。

［２］

1. イ 2. ウ 3. ア

［３］

1. ア 2. イ 3. ア

［４］

1. got off 2. a piece 3. when necessary

［解説］

1. ｢～を降りる」はget off ～で表せます。

2. ｢一つの～」はa piece of ～で表せます。

3. ｢必要なら」はwhen necessaryで表せます。

［５］

1. It started raining as soon as we left the house.

2. They live in a house built by their grandfather.

[解説]

1. ｢～するとすぐに」はas soon as～で表せます。

2．｢～によって建てられた家」はa house built by～で表せます。過去分詞で始まる built

by～が，名詞のa houseを後ろから修飾しています。

［６］

(1) wearing

(2) 最後の乗客が電車から降りるとすぐに，彼らは各車両に乗り込んで清掃を始めます。

(3) ③ イ ④ ウ ⑤ エ ⑥ ア

(4) ア. ・stand in line on the platform

・bow deeply (to the passengers)

イ. Within (only) seven minutes.

［解説］

(1) 現在分詞のwearingにします。この文の主語はstaff members「スタッフ」で，動詞はappear「現れる」です。wearing uniforms が直前の staff members を後ろから修飾しています。

(2) as soon as～は「～するとすぐに」，get off～は「～を降りる」，go into～は「～に入る」の意味を表します。carはここでは「(列車の)車両」を意味します。

(3) ③turn～aroundは「～の向きを変える」の意味を表します。

⑥ sweep は「(床・地面)を掃く」の意味を表します。

(4) ア．*l*.2-3と*l*.15-16の内容から考えましょう。

イ．*l*.5 の内容から考えましょう。

Part 2　(p.10-11)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| speedy | きびきびとした | skill | (熟練した)技術 |
| visitor | 訪問者 | boring | 退屈な |
| contribute | 貢献する | theater | 劇場 |

［解説］

・visitor は visit(～を訪問する)＋or(人を表す接尾辞) からできた語です。actor (役者)，

director(監督)等も同様です。

・boring は bore「～を退屈させる」(動詞)の形容詞形です。

［２］

1. ウ 2. ア 3. イ

［３］

1. ア 2. イ 3. イ

［４］

1. team of 2. surprised to 　　3. it

［解説］

1. ｢～人のチームで」は in a team of～で表せます。

2. ｢～して驚く」はbe surprised to *do*で表せます。

3. ｢～することを…だと考える」は“think＋it＋形容詞＋to 不定詞”で表せます。

itは形式目的語で，真の目的語はto do my bestです。

［５］

1. I want to contribute to many people.

2. It is exciting to watch a professional soccer game.

［解説］

1. ｢～に貢献する」はcontribute to～で表せます。

2. ｢～することは…だ」は“It is＋形容詞＋to 不定詞” で表せます。Itは形式主語で，真

の主語はto watch a professional soccer gameです。

［６］

(1) エ

(2) ② ウ ④ ア

(3) 日本の鉄道は時間に正確であること

(4) 掃除をすることは退屈だと考える人もいます

(5) Because it is performed in the cars and on the platforms.

［解説］

(1) *l*.2-3の「だれもが見て驚く」ものは何かを考えましょう。

(2) 各空所のある段落では，テッセイのパフォーマンスの特徴が述べられているので，

そのキーワードが何かを考えましょう。イの price(値段)，エの name(名称)は本文では触れられていません。

(3) 同じ文の because 以降で述べられています。theyはJapanese railwaysを指します。

(4) “think＋it＋形容詞＋to 不定詞”は「～することを…だと考える」の意味を表します。

Some people は数を漠然と表しているので，｢～する人もいる」と訳すとよいでしょう。

(5) 最後の文の後半に「理由」を表す接続詞 as「～なので」で始まる節があり，理由が述

べられています。

Part 3　(p.12-13)

［１］

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| unique | 独特な | comfortable | 快適な |
| success | 成功 | improve | ～を改善する |
| pride | プライド，誇り | suggestion | 提案 |

［解説］

・uniqueには onlyとほぼ同義の「唯一の」という意味もあります。

・successは名詞，succeedは動詞「成功する」です。

・suggestionは名詞，suggestは動詞「～を提案する」です。

［２］

1．イ 2．ア 3．イ

［３］

1. イ 2. ア 3. イ

［４］

1. help me with　　2. make an effort　　3. set up

［解説］

1. ｢*A*の*B*を助ける[手伝う]」はhelp *A* with *B*で表せます。

2. ｢～する努力をする」はmake an effort to *do*で表せます。

3. ｢～を設ける」は set up～で表せます。

［５］

1. I think it necessary that you tell the truth.

2. Both countries are related to each other.

［解説］

1. ｢～することを…だと考える」は“think＋it＋形容詞＋that 節”で表せます。itは形式目的語で，真の目的語はthat you tell the truthです

2. ｢～と関係がある」は be related to～で表せます。

［６］

(1) 彼らが身の回りの場所を掃除すること

(2) with

(3) 彼らはまた，乗客のために自分たちの仕事を改善するあらゆる努力をします。

(4) 東京駅にベビー休憩室が設けられた

(5) ア，オ

［解説］

(1) “think＋it＋形容詞＋that 節”の文で，itは形式目的語です。真の目的語はthat they clean the places around themです。

(2) help *A* with *B*で「*A*の*B*を助ける」の意味を表します。

(3) make an effort to *do*で「～する努力をする」の意味を表します。ここでは不定冠詞

のanの代わりに，形容詞のevery「あらゆる」が用いられています。

(4) 下線部直前の because of～は「～のために」という直接的な理由や原因を表します。

その結果は同じ文の前半に述べられています。

(5) *l*.1のOne reason...「1つの理由は…」，*l*.5のAnother reason...「成功のもう1つの理由

は…」のあとに続く内容に注目しましょう。